

---

# 酒は呑んでも呑まれるなってよくいうよね

朔架

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

酒は呑んでも呑まれるなってよくいうよね

### 【著者】

ZZ一ダ

N1384M

### 【作者名】 朔架

### 【あらすじ】

お酒はまだほどこない話っぽいものです

本日飲み会です。

（なんだかなあ…。）  
と私、雲井千絵は思った。

というか、ハタチになつてないのに居酒屋に行つても大丈夫なのかが不安だった。

今日行くメンバーはあたし以外、誕生日が来て、ハタチなんだよね…。

「こりつしゃいませー。予約された見浪様ですねー。席まで案内しますー。」

（…）

案内をれちゃつたよ！  
いいんだ、こんなんで！

「そ、飲むよ、今日はとーとん飲むよー！」

「千絵何にする？」

「あたしは、普通にカルピスでいいよ。皆は飲めば？」

「そ？じゃあ遠慮なくーんーと、イチゴのカクテルにしようかなー。」

「決まつたら注文するよー！」

…………  
「あつはは、あーつははつはつはーーー！」

「…千絵飲んでないよね？」

「…うん。」

（（（（なんだい）のハイテンション……）））

「ん?…じつしたの…?」

「…あ、いつか。で、最近じつなのが…」

「ま、女が集まればやることなまへつ。」

ガールズトークだ。最初は、お気に入りのお店。あんな服欲しいとかなんだけ。」

そのうち、#ワードハイ語になるもので。

「ふつちやけ、キュンツトするポイントはな?」

「えー。それはさあ…。」

予約でよかつた、個室でよかつたと黙つてしまひ女の本音がでるもんです。

「やつぱつ、強引なのがいいんだつてー。」

「えー強引過激のはやだなー。」

……

「今日は楽しかったねー。じゃ、また」

「またねー!…あははー」

（（（だから何でやたら笑つてたのー）））

皆様、お酒はハタチからー!-

（後書き）

ども、朔架です。

飲み会の空氣に流される人です。  
やたら笑います。何がおかしいのか分かつてすらいないつていう駄  
目さ加減。

それ以前に飲んじやいけない年齢（笑）ですけど。

でも、1回は普通に飲んでみたいなとも、思います。  
まだ、1年と1ヶ月はNGですが（笑）

ま、それはおいといて、

あれです、暇は人をおかしくしますね。  
平日に更新するつもりなかつたのに、  
なぜかパソコンに向かっているという現実（笑）

そしてあと、30分ほどで、日付が変わるんですが  
著者は仕事お休みなんで、とても暇です。  
なので、気が向いたら、また更新します。

（それ以前に今からもうじつこ更新するつもりですが）

ではでは。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1384m/>

---

酒は呑んでも呑まれるなってよくいうよね

2011年1月3日18時42分発行